

中学校 英語科部会

部会長名 大任町立大任中学校 校長 松内 隆泰

実践者名 糸田町立糸田中学校 教諭 加藤 睦都

1 研究主題及び副題

英語でのやり取りを継続・発展できる力を養う外国語（英語）科学習指導法の研究
～TPPTアプローチを取り入れた学習過程におけるプリペアーシートの活用を通して～

2 主題設定の理由

(1) 社会的背景から

平成26年9月に出された「グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言」では「現在、学校で学ぶ児童生徒が卒業後に社会で活躍するであろう2050年頃には、我が国は、多文化・多言語・多民族の人たちが、協調と競争する国際的な環境の中にあることが予想され、そうした中で、国民一人一人が、様々な社会的・職業的な場面において、外国語を用いたコミュニケーションを行う機会が格段に増えることが想定される。」と述べられており、「話すこと」の指導の充実がより一層求められている。このような現状により、新学習指導要領では外国語（英語）科の指導する技能の1つである「話すこと」が「話すこと [発表] 」と「話すこと [やり取り] 」に分けられており、[やり取り] においては、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」ことを目標の一つとしている。よって、英語でのやり取りを継続・発展できる力を養うことを目指す本研究は意義があると考える。

(2) 教科の本質から

新学習指導要領によると、外国語科の目標は「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。」である。つまり外国語科の本質を一言で言えば「外国語を用いたコミュニケーションを図る資質・能力の育成」である。卯城（2022）は、ここでのコミュニケーション能力とは、「単なる英語力を指すものではなく、英語を通した話し手と聞き手、書き手と読み手のキャッチボールである。」と説明している。よって、英語でのやり取りを継続・発展できる力を養うことを目指す本研究は、教科の本質とも合致しており、有意義であると考えられる。

(3) 今までの反省から

これまでの授業において、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」という目標を達成するために、帯活動を設定したり、場面設定を行い、必然的に英語を話さないといけないう状況をつくったりして授業に取り組んできた。しかし、英語でのやり取りになると生徒の発話が少なくなったり、あらかじめ用意された表現ばかりを使ってしまい、その場に応じた表現を思考・判断して発信できなかつたりと、生徒が英語でのやり取りを継続・発展できる力を十分に養うこと

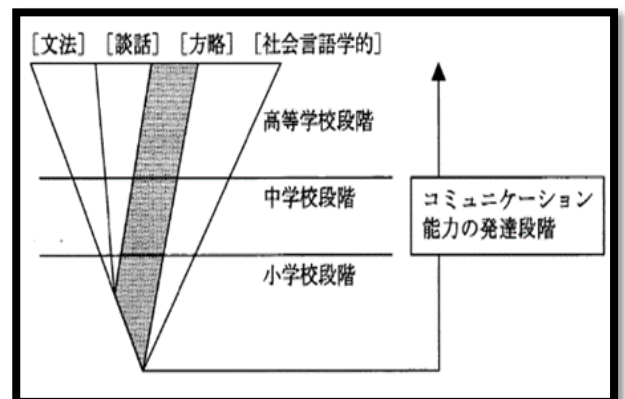
ができなかった。よって、生徒が英語でのやり取りを継続・発展できる力を養うことを目指す本研究は、上記の課題解決に有効であると考えられる。

3 主題及び副題の意味

(1) 「英語でのやり取りを継続・発展できる力」とは

「継続・発展できる力」とは中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編（以下、新学習指導要領とする）によると、「会話を継続・発展させるために必要なこととして、①相手に聞き返したり確かめたりする、②相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いたりする、③相手の答えを受けて、自分のことを伝える、④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える、などが考えられる」とある。大城（2008）によると、【図1】に示すように、学習者が英語を学び始めた初期の段階ではCanale & Swain（1980）が定義したコミュニケーション能力のうち方略的能力（語彙力などの不足等を補ってコミュニケーションを続けていく能力）が大部分を占めているが、中学校段階から談話能力（文レベルではなく文章の構成に関わる能力）が占める割合が増えてくるので、この能力を育成する必要がある。つまり、ある質問に対して単語や単文のみで応答するのではなく、まとまりのある英文で応答する能力の育成を目指す必要がある。さらに、新学習指導要領によると、話すこと〔やり取り〕に関して、「自分から事実や考え、気持ちなどを整理して伝えた後に、その内容に関する質問に適切に応答したり聞き返しをしたりしながら対話を継続させ、情報や考えなどを共有することを重視している」とある。ここから相手から一方的に質問され、それに応答するだけでなく、関連する質問をしてやり取りを継続するための能力が重要であることが分かる。

そこで、本研究において「英語でのやり取りを継続・発展できる力」とは、「相手の発話に対して、情報や自分の意見を含むまとまりのある英文で応答し、さらに関連する質問を付け加える力」と定義する。



【図1】 日本の各学校段階におけるコミュニケーション能力の変遷

(2) 「TPPTアプローチを取り入れた学習過程におけるプリペアーシートの活用」

① 「TPPTアプローチ」とは

「TPPTアプローチ」とは、Leis & Erickson（2019）が提案した、PPP教授法とTBLT教授法の利点を生かした教授法である。PPP（Presentation-Practice-Production）教授法とは、Presentationの段階で目標言語項目を説明し、Practiceの段階で言葉の入れ替え等の口頭練習を行い、Productionの段階で練習した文型を使ったタスクなどの言語活動を取り入れアウトプットさせる、といった流れで指導するものである。また、TBLT（Task-Based Language Teaching）教授法とは、学習者に達成させるべき課題（タスク）を与え、その課題達成のための道具として言語を使わせ、その言語を使用する過程を最大限に利用して実践的運用を育成しようとするものである。しかし、松村（2017）は、PPP教授法について、自由・自発的で創造的な言語使用がしづらいことや、必要性や関心と無関係に行われる文法説明や機械的練習が行われるなどの課題があると述べている。さらに、佐藤（2015）は、TBLT教授法について、日本の教育環境では非効率的であることや目標言語と語彙の

習得の難しさ、アウトプットの保障の難しさという課題を示している。そこで本研究では、これら2つの教授法の利点を生かしたアプローチとしてTPPTアプローチを取り入れる。具体的にはTask1-Presentation-Practice-Task2という一連の取り組みを単元の中に仕込む。その中でまず単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるために、単元課題に類似したものに取り組みさせる(Task1)。そしてその後、表現できなかった内容について目標言語として導入し(Presentation)、練習(Practice)させ、最後に単元課題に取り組みさせる(Task2)という内容である。しかし、生徒が単元課題に対しての内容を持つことができなかつたり、言いたいことをうまく表現できなかったりなどやり取りを継続・発展させることができないことが予想される。この点について、新学習指導要領では、「自分の考えなどを短時間で構成して伝え、質問に応答できるようになるための橋渡しとして、大まかな流れや主要な点を書いたメモに基づいて伝え合うなど段階的に指導することが大切である」と述べられている。そこで本研究では、TPPTアプローチのPracticeの段階で単元課題を解決するために必要な表現を想定させ、やり取りを行わせる。田中(2016)は、学習者が言いたいことを自分の力で表現することで、言いたいことと言えないことのギャップに気づくことができたり、相手がいる会話の中で学習者がすでに身につけた知識を試したりすることができると述べている。このことから、やり取りを継続・発展できる力を養うために生徒にアウトプットさせることが重要である。よって、アウトプットの機会を十分に確保できるこの学習過程は生徒が英語でのやり取りを継続・発展できる力を養うために、大変有効であると考えられる。

② 「プリペアーシートの活用」とは

「プリペアーシート」とは、単元課題を解決するために必要な表現を蓄積したり、タスクの目的や場面、状況を基に一連の会話を想定し、ペアで質問やその応答を考えさせたり、その想定した内容を基に様々なペアで会話練習を行わせた際に、「会話を継続・発展させるために必要な表現」や「習得した表現の使い方に対する気づき」などを記述させたりするためのワークシートである。

「プリペアーシートの活用」とは、TPPTアプローチにおけるPresentation(Task1において表現できなかった内容についての学習)とPractice(自分の課題解決のために学んできたものを用いての会話練習)の段階でプリペアーシートを活用させることである。まず、Presentationの段階では、単元課題で伝えるべき内容について整理させるために、マッピングを行わせる。次に、各新出言語材料を用いて単元課題を解決するためにどのようなことが言えるかを想定させ、単元課題を解決するために必要な表現を蓄積させる。さらに、Practiceの段階では、Presentationの段階で蓄積した表現を基に、単元課題を解決するために「自分が伝えたいこと」、「相手に聞きたいこと」、「相手からの質問に対する応答」などを生徒に想定させる。次に、その想定した会話を基に会話練習を行わせ、振り返りを行わせる。そして、その振り返りを基にプリペアーシートを加筆、修正させ、再度会話練習を行わせる。最後に、活動を振り返り「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、「課題を解決するためにすべきこと」、「先生への質問」を記述させる。このように活用することで、Task1において表現できなかった内容を習得したり、習得した表現の活用場面に気づいたりすることができる。白畑他(2019)によると、「目標言語の形式的特徴とそれが表す意味・機能との関連に学習者が意識的に気づくことは、言語項目を自由に使いこなせるようになるための前提条件である」と述べている。よって、プリペアーシートを活用することで、生徒に気づきを促すことは英語でのやり取りを継続・発展できる力を高めることができると考える。

また、新学習指導要領では、やり取りにおいて、「活動中の言語使用について具体的にフィード

バックしたり、活動後に生徒が自分の使用した英語について振り返り、場面に応じた適切な表現方法を確認する機会を与えたりすることも重要である」とあり、このことから生徒が自己の表現を振り返ることができ、生徒の記述内容を基に教師が生徒に適切にフィードバックできる仕組みを持ったプリペアーシートを用いることは有意義であると考えられる。

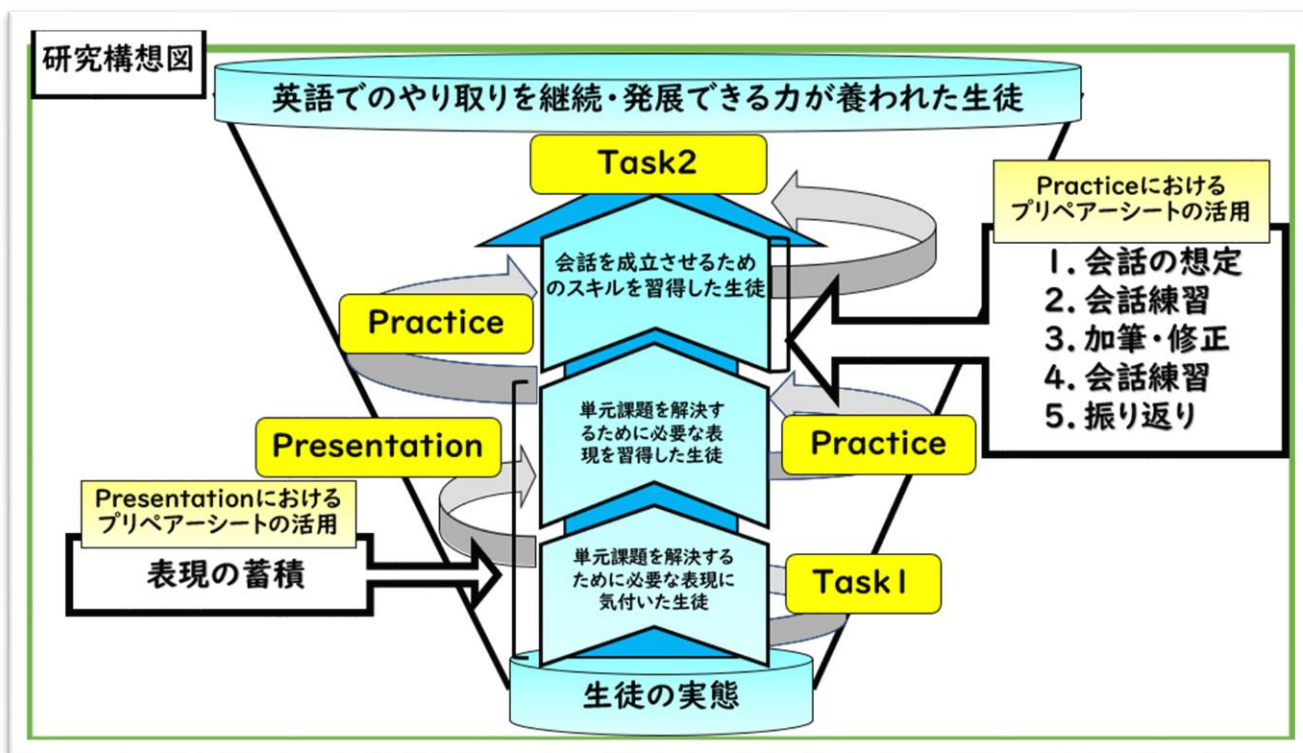
4 研究の目標

英語でのやり取りを継続・発展できる力を養うために、TPPTアプローチを取り入れた学習過程におけるプリペアーシートの活用を行うことの有効性を明らかにする。

5 研究の仮説

中学校第2学年外国語（英語）科学習指導において、TPPTアプローチを取り入れた学習過程におけるプリペアーシートの活用を行えば、単元課題を解決するために必要な表現に気づき、その気づいた内容を単元課題で使うことで、英語でのやり取りを継続・発展できる力を養うことができるであろう。

(1) 研究構想図



6 指導の実際

実践Ⅰ 「糸田町地域おこし協力隊の杉尾さんと季節ごとのイベントについて話そう」

1 単元 「糸田町地域おこし協力隊の杉尾さんと季節ごとのイベントについて話そう」

2 本実践における研究の手立て

(1) TPPTアプローチを取り入れた学習過程

本実践では、英会話練習の機会を確保し、さらにこの練習の振り返りを基にプリペアーシートを加筆、修正させる。さらに、糸田町地域おこし協力隊の杉尾さん（以下GTとする）とのパフォーマンステストの前にALTと実際に季節ごとのイベントについてやり取りする時間を設定し、そこから生徒自身の語彙や表現に関する課題を明確にさせる。

(2) プリペアーシートの活用の工夫

本実践では、これまでの反省からPresentationの段階で用いるプリペアーシートに、伝えたい内容について、マッピングをさせる欄を追加した。これは、以下の2点で効果があると考えられる。1点は、会話練習を行う際に、自分がどのようなことを伝えたいのかを常に確認できる。2点は、会話練習を行い、内容面の知識が足りず言えなかったことをマッピングに書き込んだり、まとまりのある内容を話すために、関連する項目を色分けし整理したりすることができる。

3 目標

- 「have + to + 動詞の原形」、「助動詞must」や「動名詞」などに関する知識を身に付けている。
(知識・技能)
- 季節ごとのイベントについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、「have + to + 動詞の原形」、「助動詞must」、「動名詞」などを用いて伝えたり、質問に答えたりすることができる。
(知識・技能)
- GTに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、GTからの質問に答えたりすることができる。
(思考・判断・表現)
- GTに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、GTからの質問に答えたりしようとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

4 本単元における評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]</p> <p>① 「have + to + 動詞の原形」を正しく活用し教師が設定した状況において「しなければならないこと」や「しなくてよいこと」を表現することができる。</p> <p>② 「助動詞must」を正しく活用し、教師が設定した状況において、「しなければならないこと」と「してはいけないこと」を表現することができる。</p> <p>③ 「動名詞」を正しく活用し、「～することを楽しむ」や「～することはうれしい」などの表現を用いて日本の文化に対する自分の意見を表現することができる。</p>	<p>① ALTに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、ALTからの質問に答えたりしている。</p> <p>② ペアに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、ペアからの質問に答えたりしている。</p>	<p>① ALTに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、ALTからの質問に答えたりしようとしている。</p> <p>② ペアに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、ペアからの質問に答えたりしようとしている。</p>

<p>[技能]</p> <p>① 季節ごとのイベントについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、「have + to + 動詞の原形」、「助動詞 must」、「動名詞」などを用いて伝えたり、質問に答えたりする技能を身に付けている。</p>	<p>③ GTに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたりGTからの質問に答えたりしている。</p>	<p>③ GTに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたりGTからの質問に答えたりしようとしている。</p>
---	--	---

5 計画 (15時間)

次	配時	学習活動・内容	指導上の留意点						
一	1	<p>1 本単元の流れや目標をつかむ。</p> <p>(1) GTからのリクエストを視聴する。 (GTからのリクエスト)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hello, Itoda junior high school 2 nennsei. Thank you for sending me many reports about your dream. They attracted me. From your reports, I can get much information about the young generation's favorites. And I want to hold events based on your information. But there are many things I don't know, such as Yamakasa, Tobata Gion, and Wasshoi. So, I want you to tell me Japanese events. What are famous events in spring? What are famous events in winter? Also is there anything I have to do or must not do in the events? I want to ask some questions about them. I think your information is very useful for tourists. So, I'm looking forward to your nice information.</p> </div> <p>(2) 「季節ごとのイベント」について、ペアでやり取りを行う。</p> <p>(3) 活動を振り返る。</p>	<p>○ 単元課題の目的や場面、状況をつかませるために、GTさんからのリクエストを視聴させる。 〈単元課題の目的や場面、状況〉</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #f0f0f0; text-align: center;">目的</td> <td>杉尾さんに観光客を増やすためのイベントやお祭りの参考にしようとするため。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; text-align: center;">場面</td> <td>昨年までアメリカに住んでいて、日本の文化に馴染みのない杉尾さんと季節ごとのイベントについて話している。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d0d0d0; text-align: center;">状況</td> <td>観光客を呼び込みたいが、若い世代の人たちがどのようなものに興味があるかわからず困っている。</td> </tr> </table> <p>○ 生徒にやり取りを積極的に行わせるために、自分の考えを整理するための時間を設定する。</p> <p>○ 生徒にやり取りにおける自身の課題に気づかせるために、活動の振り返りを行わせる。</p>	目的	杉尾さんに観光客を増やすためのイベントやお祭りの参考にしようとするため。	場面	昨年までアメリカに住んでいて、日本の文化に馴染みのない杉尾さんと季節ごとのイベントについて話している。	状況	観光客を呼び込みたいが、若い世代の人たちがどのようなものに興味があるかわからず困っている。
目的	杉尾さんに観光客を増やすためのイベントやお祭りの参考にしようとするため。								
場面	昨年までアメリカに住んでいて、日本の文化に馴染みのない杉尾さんと季節ごとのイベントについて話している。								
状況	観光客を呼び込みたいが、若い世代の人たちがどのようなものに興味があるかわからず困っている。								
二	6	<p>2 「have + to + 動詞の原形」を用いて必要性や義務を表現する。 (予想される生徒の記述)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>I have to bring much money. You don't have to wear a mask.</p> </div> <p>3 単元課題を解決するために「have + to + 動詞の原形」を用いてどのようなことが伝えられるかをプリペアーシートに記述する。 〈プリペアーシートの活用①〉</p>	<p>○ 「have + to + 動詞の原形」の文構造や用法を定着させ、単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるために、イベントを楽しむうえで、「しなければならないこと」や「しなくてよいこと」を考えさせる。</p> <p>○ 単元課題の解決に必要な表現を蓄積させるために、「have + to + 動詞の原形」を活用した会話をプリペアーシートに想定させる。</p> <p>○ 想定した内容を定着させるために、プリペアー</p>						

		<p>(予想される生徒の記述)</p> <p>GT : Please tell me the famous event in summer.</p> <p>生徒 : I like fireworks festivals. In the fireworks festival, <u>there are many food stands</u>. So, we have to bring much money.</p> <p>4 「助動詞must」を用いて義務や命令を表現する。 (予想される生徒の記述)</p> <p>We must take our trash home. You must not smoke in the park.</p> <p>5 単元課題を解決するために「助動詞must」を用いてどのようなことが伝えられるかをプリペアーシートに記述する。 (プリペアーシートの活用②) (予想される生徒の記述)</p> <p>GT : Please tell me the famous event in fall.</p> <p>生徒 : <u>In fall?</u> I like the Halloween festival in Kokura. In this event, <u>we enjoy</u> many kinds of costume. In Japan, we must take our trash home. <u>Did you try costume?</u></p> <p>6 「動名詞」を用いて季節ごとのイベントに関する自分の意見や行動を表現する。 (予想される生徒の記述)</p> <p>We can enjoy eating Christmas cake. Getting a present from Santa Claus is very happy.</p> <p>7 単元課題を解決するために「動名詞」を用いてどのようなことが伝えられるか、プリペアーシートに記述する。 (プリペアーシートの活用③) (予想される生徒の記述)</p> <p>GT : Please tell me the famous events in winter.</p> <p>生徒 : <u>In winter?</u> Well, <u>we can enjoy</u> joining Christmas party. In this party, we can get a present. Getting a present from Santa Claus is very happy. <u>Did you try eating Japanese Christmas cake?</u></p>	<p>シートを用いて会話練習を行わせる。</p> <p>○会話を継続・発展させるための表現を理解させるために、汎用的な会話表現を確認させる。</p> <p>○「助動詞must」の文構造や用法を定着させ、単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるためにイベントを楽しむうえで注意すべきことを表現させる。</p> <p>○単元課題の解決に必要な表現を蓄積させるために、「助動詞must」を活用した会話をプリペアーシートに想定させる。</p> <p>○想定した内容を定着させるために、プリペアーシートを用いて会話練習を行わせる。</p> <p>○会話を継続・発展させるための表現を理解させるために、汎用的な会話表現を確認させる。</p> <p>○「動名詞」の文構造や用法を定着させ、単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるために、イベントに対する自分の意見を考えさせる。</p> <p>○単元課題の解決に必要な表現を蓄積させるために「動名詞」を活用した会話をプリペアーシートに想定させる。</p> <p>○想定した内容を定着させるために、プリペアーシートを用いて会話練習を行わせる。</p> <p>○会話を継続・発展させるための表現を理解させるために、汎用的な会話表現を確認させる。</p>
三	5	<p>8 プリペアーシートへの蓄積を基に単元課題を解決するための会話を想定する。 (プリペアーシートの活用④)</p>	<p>○会話の想定を円滑に行わせるために、前時までの学習を振り返ったり、プリペアーシートを見直したりする時間を設定する。</p>

	<p>9 ALTと「季節ごとのイベント」についてやり取りを行う。</p> <p>10 ALTとの会話練習を振り返る。 〈プリペアーシートの活用⑤〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの会話練習での発話内容の文字起こし ・文字起こしした内容を基にした、自身のプリペアーシートへの加筆、修正 ・加筆、修正したプリペアーシートを用いた、ペアとの会話練習 	<p>○単元課題の解決に対する生徒自身の課題に気づかせるために、ALTとやり取りの練習を行うという実際の単元課題を想定した活動を設定する。</p> <p>○活動後に自身のパフォーマンスを振り返らせるために、ALTとのやり取りを撮影させる。</p> <p>○生徒にやり取りにおける課題を明確にさせるために、ALTとの会話練習での発話内容を文字起こしさせ、「こう言えばよかった」と思う英文を加筆させる。</p>
本時	<p>11 ペアとの会話練習を基に自身の表現を振り返る。 〈プリペアーシートの活用⑦〉</p> <p>(1) 前時のALTとの会話練習から気づいた「会話の継続・発展に必要な表現」をプリペアーシートに記述し、ペアで会話練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリペアーシートへの加筆修正① ・ペアでの会話練習 ・会話練習の自己評価 ・教師からのフィードバック ・プリペアーシートへの加筆修正② <p>(2) 実際のパフォーマンステストを想定した練習を行う。</p>	<p>○生徒の会話に用いる表現を広げさせるために、生徒の会話練習において「参考にしてほしい表現」を紹介したり、生徒が「言いたかったけど言えなかったこと」を全体で共有したりする。</p> <p>○生徒のやり取りにおける課題に気づかせるために、教師が即興で季節を指定し、その季節のイベントについて、生徒にやり取りを行わせるという、実際のパフォーマンステストと同じ状況での会話練習を行わせる。</p>

四	3	12 GTと季節ごとのイベントについてやり取りを行う。 (予想される生徒とGTのやり取り)	○これまで蓄積した気づきを本時のパフォーマンステストの中で活用させるために、プリペアーシートを確認させる。
		<p>GT : Please tell me the famous events in summer.</p> <p>生徒 : In summer? Well, I like fireworks festivals. In this year, I went to the fireworks festival in Ashiya. Have you ever been to fireworks festivals in Japan?</p> <p>GT : No, I haven't. Because of COVID-19, I can't go there. In that festival, what can we enjoy?</p> <p>生徒 : There are many things to enjoy. You can enjoy many food stands such as, Takoyaki, Yakitori, and Yakisoba. Eating food from the food stands makes me happy. In Japan, it is very hot and humid. But, because of COVID-19, we have to wear a mask. What summer event do you have in America?</p> <p>GT : Let me see,</p>	
		13 パフォーマンステストを振り返る。 ・自身のパフォーマンステストの動画での発話内容の文字起こし	○生徒にやり取りにおける課題を明確にさせるために、パフォーマンステストでの発話内容を文字起こしさせ、「こう言えばよかった」と思う英文を加筆させる。

6 本 時

(1) 本時の指導観

前時までに生徒は、単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるために、単元課題に類似したものを取り組ませる「Task1」、そしてTask1の中で課題として挙げた「自分の意見が言えなかった」、「季節ごとのイベントの詳しい説明ができなかった」などの課題を解決するためにhave + to +動詞の原形、助動詞mustや動名詞などの言語材料や、やり取りを行う際に役に立つ汎用的な表現を学習させ、それらを用いて単元課題を解決するためにどのようなことを表現すると良いかを考えさせる「Presentation」、さらにこれまでにプリペアーシートに蓄積した記述を基に単元課題を解決するための会話を想定させる活動とALTとの会話練習やALTとの会話練習における発話内容の分析を行い、自身のプリペアーシートへの加筆、修正する活動に取り組んでいる。そこで本時では、ペアとの会話練習を基に自身の表現について振り返る活動を通して、会話を継続・発展させるために必要な表現に気づき、自分の発話に活用することができることをねらいとする。そこでまず、帯学習を行わせる。ここでは、やり取りに必要な表現の定着を図らせるために、ペアで定型文を用いた会話練習に取り組ませる。その際、実際の会話を想定した活動にするために、1つの質問に対して複数の答えを用いて応答させる。次に、プリペアーシートを用いてペアでの会話練習に取り組ませる。ここでは、会話練習で自分が言えなかった表現に気づかせるために、自己評価を行わせる。その際、生徒により多くの表現を身につけさせるために、生徒の発話内容を全体で共有したり、教師が生徒の発話内容に対してフィードバックを行ったりする。そして、生徒自身の振り返りや教師からのフィードバックを基にプリペアーシートへの加筆、修正を行わせる。さらに、再度ペアでの会話

練習に取り組ませる。ここでは、実際のパフォーマンステストを想定して教師が即興で季節を指定し、その季節のイベントについてプリペアーシートを見ずにやり取りを行わせる。その際、生徒に自身の発話内容を振り返らせるために、会話練習の様子をタブレットで撮影させる。最後に、本時の振り返りを行わせる。ここでは、本時の気づきを次時のパフォーマンステストに活用させるために、「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、「その課題の解決策」、「先生への質問」を記述させる。

本時のねらいを達成するための工夫点は、プリペアーシートの活用である。プリペアーシートを用いてペアでの会話練習に取り組ませる。ここでは、会話練習で自分が言えなかった表現に気づかせるために、自己評価を行わせる。その際、生徒により多くの表現を身につけさせるために、生徒の発話内容を全体で共有したり、教師が生徒の発話内容に対してフィードバックを行ったりする。そして、生徒自身の振り返りや教師からのフィードバックを基にプリペアーシートへの加筆、修正を行わせる。次に次時のパフォーマンステストを想定した会話練習を行わせる。ここでは、自身の表現を振り返らせる際に、ルーブリックと照らし合わせて相互評価を行わせる。最後に、本時の振り返りを行わせる。ここでは、「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、「その課題の解決策」、「先生への質問」を記述させる。

(2) 主 眼

○ペアとの会話練習を基に自身の表現について振り返る活動を通して、会話を継続・発展させるために必要な表現に気づき、自分の発話に活用することができる。

(3) 過 程

学習活動・内容	指導上の留意点 (○) と評価 (◇)
<p>1 あいさつ・帯活動を行う。</p> <p>(1) あいさつを行う。</p> <p>(2) 帯学習を行う。 (予想される生徒の発話)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>S1 : Where will you go this Sunday? S2 : Well, I will go to Riverwalk. I want to buy a new bag there.</p> </div> <p>2 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○英語を使う雰囲気を作るために、英語でのあいさつを行う。</p> <p>○やり取りに必要な表現の定着を図らせるために、ペアで定型文を用いた会話練習に取り組ませる。</p> <p>○実際の会話を想定した活動にするために、1つの質問に対して複数の答えを用いて応答させる。</p> <p>○生徒に本時の見通しをもたせるために、前時に行ったことを確認したり、単元課題を基に本時では何を行わなければならないかを考えさせたりする。</p>
<p>【めあて】 ペアとの会話練習で言えなかったことを Training Match で使えるようになろう！！</p>	
<p>3 プリペアーシートを用いてペアで会話練習を行う。</p> <p>(1) ペアで会話練習を行う。</p>	<p>○実際の会話を想定し、様々な質問や応答に触れさせるために、ペアを変えながら会話練習を行わせる。</p>

(2) 会話練習を基に自身の表現について振り返りを行う。

- ・会話練習に対する自己評価
- ・教師によるフィードバック

(3) 次時のパフォーマンステストを想定した会話練習を行う。

(予想される生徒の発話)

S1 : (教師から指定された季節を見て)

Please tell me the famous events in spring.

S2 : Well, in spring, we can enjoy seeing cherry blossoms. We call it *ohanami* in Japanese. In *ohanami*, we can enjoy eating food under the cherry blossoms. Have you ever enjoyed *ohanami* in Japan?

S1 : No, I haven't. Can we enjoy only eating in *ohanami*?

S2 : Um...

S1 : Can we enjoy only eating in *ohanami*?

S2 : Oh, we can enjoy many things at *yatai*. Do you know *yatai*?

S1 : No, I don't know. What's *yatai*?

S2 : It is a kind of food stand. Food stands sell many kinds of delicious food

○より自分が言いたいことを言えるようにするために、生徒に会話練習で言えなかった表現をプリペアーシートに記述させる。

○生徒に自身のやり取りにおける課題を明確にさせるために、教師が季節を指定し、その季節のイベントについて、生徒にやり取りを行わせる。

○生徒にプリペアーシートへの記述内容が定着しているか確認させるために、プリペアーシートを見ずに会話練習を行わせる。

○生徒に自身の発話内容を振り返らせるために、会話練習の様子をタブレットで撮影させる。

○会話練習の評価を適切に行わせるために、パフォーマンステストのルーブリックに基づいた相互評価を行わせる。

◇ペアに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、ペアからの質問に答えたりすることができたか。 (動画・プリペアーシート分析)

◇ペアに季節ごとのイベントを紹介し、興味を持ってもらえるように、そのイベントについて、具体的な内容やおすすめポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、ペアからの質問に答えたりしようとしていたか。 (動画・プリペアーシート分析)

4 本時の振り返りを行う。

- ・「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、
「その課題の解決策」、「先生への質問」の記述
(予想される生徒の振り返り例)

うまくいったこと

動名詞を使って花見に関する自分の意見を言うことができた。意見を加えることで、相手により興味を持ってもらえるような気がする。

うまくいかなかったこと

Can we enjoy only eating in ohanami? と聞かれ、具体例を答えることができなかった。

その課題の解決策

自分の伝えたい内容についての情報を集めておく。

具体例を言うときに such as や for example、like という表現を活用する。

○本単元で蓄積した気づきを次の表現活動に活用させるために、「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、「その課題の解決策」、「先生への質問」を記述させる。

○生徒のやり取りにおける表現を深めさせるために、生徒が振り返りに記述した内容を全体で共有する。

ABCDEF GHIJKLMN OPQRST UVWXYZ **プリペアーシート No. 1** ABCDEF GHIJKLMN OPQRST UVWXYZ

Class () No. () Name ()

< Final Goal >

< リクエスト >

< 目的・場面・状況 >

目的	
場面	
状況	

< Information >

< アイディアマップ >

(spring)

(summer)

(fall)

(winter)

言語材料①

Key Word Memo

言語材料②

Key Word Memo

言語材料③

Key Word Memo

< Reflection >

(うまくいったこと)

(うまくいかなかったこと・質問)

(授業を通して分かった自分の課題・努力していきたいこと)

※評価(主観性):A:具体的に書いている/B:大まかに書いている/ C:書いていない、書いていないに等しい		評価
--	--	----

【資料 1】 実践 I の Presentation で使用したプリペアーシート

プリペアーシート No.2

Class () No. () Name ()
 < Final Goal >

系田町地域おこし協力隊の杉尾さんと季節ごとのイベントについて話そう!!

< 目的・場面・状況 >

目的	杉尾さんに観光客を増やすためのイベントやお祭りの参考にしてみよう。
場面	昨年までアメリカに住んでいて、日本の文化に馴染みのない杉尾さんと季節ごとのイベントについて話している。
状況	観光客を呼び込みたいが、若い世代の人たちがどのようなものに興味があるかわからず困っている。

< 杉尾さんからのリクエスト >

- ① She wants to know about seasonal events.
- ② She wants to know anything we have to do or must not do at these events.
- ③ She hopes to ask you some questions.

< ルーブリック評価表 >

	リクエスト①	リクエスト②	リクエスト③
A	季節のイベントの詳細(何、どこ、いつ、どのように)やルールについて説明することができる。	やってはいけないことや、やらなければならないことを根拠を踏まえて詳しく説明できる。	質問に A, A, A, O や AAO で答えることができ、関連する質問をすることができる。
B	杉尾さんが知りたい季節のイベントを紹介することができる。	やってはいけないことややらなければならないことを説明することができる。	質問にあった回答ができ、さらに関連する質問をすることができる。

(Spring)

what events?

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

(Memo)

(Summer)

what events?

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

(Memo)

【資料 2】 実践 I の Practice で使用したプリペアーシート (表)

(Fall)

what events?

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

(Memo)

(Winter)

what events?

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

(Memo)

< Evaluation of the training match >

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

Advice

< Reflection of the training match >

～ うまくいったこと ～
～ Training Match で活用できたプリペアーシート内の英語 ～
～ うまくいかなかったこと ～
～ 課題の解決策 ～
～ 先生への質問 ～

【資料 3】 実践 I の Practice で使用したプリペアーシート (裏)

実践Ⅳ「糸田町地域おこし協力隊の杉尾さんと日本のおすすめスポットについて話そう」

1 単元 「糸田町地域おこし協力隊の杉尾さんと日本のおすすめスポットについて話そう」

2 本実践における研究の手立て

(1) TPPTアプローチを取り入れた学習過程

本実践では、実践Ⅰの反省を基に、Task1-Presentation-Practice-Task2という学習過程のうちPresentationとPracticeの段階において改善を行った。実践Ⅰのパフォーマンステストにおいて、生徒がやり取りの途中で英単語が分からず、自分が伝えたいことを十分に伝えることができていなかったという課題を改善するために、PresentationとPracticeの段階において会話練習を行わせた際に、生徒の発話内容に対して教師が「分からない表現を言い換えて伝える方法」や「聞き取れなかったり理解できなかったりした表現に対する聞き返しの方法」についてフィードバックを与える。また、それらの対応方法を活用する上で身に付けた表現をプリペアーシートに加筆させる。

(2) プリペアーシートの活用の工夫

本実践では、実践Ⅰの反省を基に、以下の2点の改善を行った。1点は実践ⅠのパフォーマンステストにおいてGTからの質問に答えるばかりで、自ら質問し、会話を継続・発展しようとしていなかったという課題を改善するために、Practiceの段階で用いるプリペアーシートに、関連する質問を記述する欄を設ける。2点は、日本文化に馴染みのないGTに対して、日本語を交えて食べ物を紹介するなど、相手意識を持ってコミュニケーションに臨むことができなかったことを改善するために、GTとの会話をプリペアーシートに想定させる際に、国語科教員とTeam Teachingを行い、相手意識を重視した応答や関連する質問を考えさせたり、プリペアーシートを用いた会話練習の際に生徒の発話内容を全体やグループで共有し、目的や場面、状況に合った内容かどうかをお互いに評価し合い、記述内容を修正させたりする時間を設定する。

3 目標

○比較級、最上級、as + 原級 + asなどに関する知識を身に付けている。

(知識・技能)

○おすすめスポットについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、比較級、最上級、as + 原級 + asなどを用いて伝えたり、質問に答えたりすることができる。

(知識・技能)

○GTにおすすめスポットを紹介し、町おこしの参考にしてもらえるように、その場所について、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、GTからの質問に答えたりすることができる。

(思考・判断・表現)

○GTにおすすめスポットを紹介し、町おこしの参考にしてもらえるように、その場所について、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、GTからの質問に答えたりしようとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

4 本単元における評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] ①比較級を正しく活用し、おすすめスポットを外国のものと比較しながら説明する英文を表現することができる。 ②最上級を正しく活用し、おすすめスポットを知名度や大きさなどと関連付けながら説明するための英文を表現することができる。</p>	<p>①ALTにおすすめスポットを紹介し、興味を持ってもらえるように、その場所について具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたりALTからの質問に答えたりしている。 ②ペアにおすすめスポットを紹介し、興味を持ってもらえるように、その場所について具体的な内容やおすすめポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、</p>	<p>①ALTにおすすめスポットを紹介し、興味を持ってもらえるように、その場所について、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、ALTからの質問に答えたりしようとしている。 ②ペアにおすすめスポットを紹介し、興味を持ってもらえるように、その場所について、具体的な内容やおすすめのポイント</p>

<p>③as + 原級 + asを正しく活用し、おすすめスポットを外国のものと比較しながら説明する英文を表現することができる。</p> <p>[技能] おすすめスポットについて、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、比較級や最上級、as + 原級 + asなどを用いて伝えたり、質問に答えたりする技能を身に付けている。</p>	<p>ペアからの質問に答えたりしている。</p> <p>③GTにおすすめスポットを紹介し、町おこしの参考にもらえるように、その場所について、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたりGTからの質問に答えたりしている。</p>	<p>トなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、ペアからの質問に答えたりしようとしている。</p> <p>③GTにおすすめスポットを紹介し、町おこしの参考にもらえるように、その場所について、具体的な内容やおすすめのポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたりGTからの質問に答えたりしようとしている。</p>
---	---	---

5 計画 (15時間)

次	配時	学習活動・内容	指導上の留意点						
一	1	<p>1 本単元の流れや目標をつかむ。</p> <p>(1) GTからのリクエストを視聴する。 (GTからのリクエスト)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Hello, Itoda junior high school 2 nennsei. I enjoyed talking with you in the last speaking test. Thanks to you, I can get much information about the seasonal events in Japan. And I'm sure that your information is very useful for tourists. Today I have one request. I want to know the good places to visit in Fukuoka, Tokyo and so on. In next month, February, Mr. Kato gives me a chance to talk with you about the good places in Japan. In the last speaking test, I asked you some questions. So, in the next speaking test, I want you to ask me some questions. And I want to know your opinion about the good places in Japan, not Google's opinion. And I want you to compare your opinion and other opinion if you can. So, I'm looking forward to your nice information. See you next month!!</p> </div> <p>(2) 「おすすめスポット」について、ペアでやり取りを行う。</p> <p>(3) 活動を振り返る。</p>	<p>○単元課題の目的や場面、状況をつかませるために、GTからのリクエストを視聴させる。</p> <p>〈単元課題の目的や場面、状況〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">目的</td> <td>杉尾さんに日本の観光地を紹介し、糸田町に観光客を増やすための参考にしようとする。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">場面</td> <td>2年前までアメリカに住んでいて、日本の文化に馴染みのない杉尾さんと日本のおすすめスポットについて話している。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">状況</td> <td>インターネットなどで分かることではなく、生徒達が実際にそこに訪れたときの感想を知りたい。</td> </tr> </table> <p>○生徒にやり取りを積極的に行わせるために、自分の考えを整理するための時間を設定する。</p> <p>○生徒にやり取りにおける自身の課題に気づかせるために、活動の振り返りを行わせる。</p>	目的	杉尾さんに日本の観光地を紹介し、糸田町に観光客を増やすための参考にしようとする。	場面	2年前までアメリカに住んでいて、日本の文化に馴染みのない杉尾さんと日本のおすすめスポットについて話している。	状況	インターネットなどで分かることではなく、生徒達が実際にそこに訪れたときの感想を知りたい。
目的	杉尾さんに日本の観光地を紹介し、糸田町に観光客を増やすための参考にしようとする。								
場面	2年前までアメリカに住んでいて、日本の文化に馴染みのない杉尾さんと日本のおすすめスポットについて話している。								
状況	インターネットなどで分かることではなく、生徒達が実際にそこに訪れたときの感想を知りたい。								

<p>二 6</p>	<p>2 比較級を用いて福岡や東京にあるものを外国のものと比較しながら説明するための英文を表現する。 (予想される生徒の記述)</p> <p>Hokkaido is hotter than Alaska. Mt. Sarakura is lower than Kilauea Volcano.</p>	<p>○比較級の文構造や用法を定着させ、単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるために、おすすめスポットにある建物や観光地などを外国にあるものと比較しながら説明させる。</p>
	<p>3 単元課題を解決するために比較級を用いてどのようなことが伝えられるかをプリペアーシートに記述する。 〈プリペアーシートの活用①〉 (予想される生徒の記述)</p> <p>GT : Please tell me the famous spots in Fukuoka. 生徒 : The famous spot in Fukuoka is Mt. Sarakura. Mt. Sarakura is lower than Kilauea Volcano. But the view from Mt. Sarakura is beautiful. Which do you like better, the sea or the mountain?</p>	<p>○単元課題の解決に必要な表現を蓄積させるために、比較級を活用した会話をプリペアーシートに想定させる。 ○想定した内容を定着させるために、プリペアーシートを用いて会話練習を行わせる。 ○会話を継続・発展させるための表現を理解させるために、話題に関連する質問を含む汎用的な会話表現を確認させる。</p>
	<p>4 最上級を用いて福岡や東京にあるものを知名度や大きさなどに関連付けながら説明するための英文を表現する。 (予想される生徒の記述)</p> <p>Tokyo Sky Tree is the tallest in Japan. Ueno Zoo is the most famous in Japan.</p>	<p>○最上級の文構造や用法を定着させ、単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるために、おすすめスポットにある建物や観光地などを知名度や大きさなどに関連付けながら説明させる。</p>
	<p>5 単元課題を解決するために最上級を用いてどのようなことが伝えられるかをプリペアーシートに記述する。 〈プリペアーシートの活用②〉 (予想される生徒の記述)</p> <p>GT : Please tell me the famous spots in Tokyo. 生徒 : In Tokyo? The famous spot in Tokyo is Tokyo Sky Tree. We can enjoy eating something and shopping there. Tokyo Sky Tree is the most famous tower in my class. What is the tallest building in America?</p>	<p>○単元課題の解決に必要な表現を蓄積させるために、最上級を活用した会話をプリペアーシートに想定させる。 ○想定した内容を定着させるために、プリペアーシートを用いて会話練習を行わせる。 ○会話を継続・発展させるための表現を理解させるために、話題に関連する質問を含む汎用的な会話表現を確認させる。</p>
	<p>6 as + 原級 + asを用いて福岡や東京にあるものを外国のものと比較しながら説明するための英文を表現する。 (予想される生徒の記述)</p> <p>Hokkaido is as large as Austria. Mt. Fuji is not as high as Mt. Everest.</p>	<p>○as + 原級 + asの文構造や用法を定着させ、単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるために、おすすめスポットにある建物や観光地などを外国にあるものと比較しながら説明させる。</p>

		<p>7 単元課題を解決するためにas + 原級 + asを用いてどのようなことが伝えられるか、プリペアーシートに記述する。</p> <p style="text-align: center;">〈プリペアーシートの活用③〉</p> <p>(予想される生徒の記述)</p> <p>GT : Please tell me the famous spots outside of Fukuoka and Tokyo.</p> <p>生徒 : Outside of Fukuoka and Tokyo? Well, I recommend African Safari Zoo in Oita. It is as popular as Churaumi aquarium in Okinawa. We can enjoy feeding many animals, such as lions, bears, and tigers. Which do you like better, a zoo or an aquarium?</p>	<p>○単元課題の解決に必要な表現を蓄積させるために as + 原級 + asを活用した会話をプリペアーシートに想定させる。</p> <p>○想定した内容を定着させるために、プリペアーシートを用いて会話練習を行わせる。</p> <p>○会話を継続・発展させるための表現を理解させるために、話題に関連する質問を含む汎用的な会話表現を確認させる。</p>
三	5	<p>8 相手意識を重視し、単元課題を解決するための会話を想定する。</p> <p style="text-align: center;">〈プリペアーシートの活用④〉</p> <p>(1) 関連する質問がない会話や会話の内容にふさわしくない表情や声のトーンを用いた会話を聞いて、その会話に不足している要素に気づく。</p> <p>(2) プリペアーシートに単元課題を解決するための会話を記述する。</p>	<p>○会話の想定を円滑に行わせるために、前時までの学習を振り返ったり、プリペアーシートを見直したりする時間を設定する。</p> <p>○コミュニケーションにおいて相手意識が重要であることを理解させるために、国語科教員と連携し、相手意識の必要性を再認識させる。</p> <p>○プリペアーシートへの記述が相手意識のあるものか生徒に気づかせるために、机間指導の際に目的や場面、状況に即したアドバイスを生徒に与える。</p>
		<p>9 ALTと「おすすめスポット」についてやり取りを行う。</p>	<p>○単元課題の解決に対する生徒自身の課題に気づかせるために、ALTとやり取りの練習を行うという実際の単元課題を想定した活動を設定する。</p> <p>○活動後に自身のパフォーマンスを振り返らせるために、ALTとのやり取りを撮影させる。</p>
		<p>10 ALTとの会話練習を振り返る。</p> <p style="text-align: center;">〈プリペアーシートの活用⑤〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの会話練習での発話内容の文字起こし ・文字起こしした内容を基にした、自身のプリペアーシートへの加筆、修正 ・加筆、修正したプリペアーシートを用いた、ペアとの会話練習 	<p>○生徒にやり取りにおける課題を明確にさせるために、ALTとの会話練習での発話内容を文字起こしさせ、「こう言えばよかった」と思う英文を加筆させる。</p>

	本時	<p>11 ペアとの会話練習を基に自身の表現を振り返る。 〈プリペアーシートの活用⑥〉</p> <p>(1) プリペアーシートを用いて、ペアで会話練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの会話練習 ・会話練習の自己評価 ・教師からのフィードバック ・プリペアーシートへの加筆修正 <p>(2) 実際の本番（パフォーマンステスト）を想定した練習を行う。</p>	<p>○生徒の会話に用いる表現を広げさせるために、生徒の会話練習において「参考にしてほしい表現」を紹介したり、生徒が「言いたかったけど言えなかったこと」を全体で共有したりする。</p> <p>○生徒のやり取りにおける課題に気づかせるために、教師が即興で紹介する都道府県を指定し、その地域について、生徒にやり取りを行わせるという、実際の本番（パフォーマンステスト）と同じ状況での会話練習を行わせる。</p>								
四	3	<p>12 GTとおすすめスポットについてやり取りを行う。 (予想される生徒とGTのやり取り)</p> <p>GT : Please tell me the famous spots in Fukuoka. 生徒 : In Fukuoka? Well, I like Itozu-no-mori Zoo. We can enjoy seeing many animals there. Zoo is more popular than aquarium in my class. Which do you like better, zoo or aquarium?</p> <p>GT : Well, I like aquarium because I lived near the beach in America. Do you know the good aquarium in Fukuoka? 生徒 : Let me see ..., I think Marin World is the most famous aquarium in Fukuoka. There are many interesting spots near this aquarium such as a beach, a big park, and a big pool. I think the big pool is the most popular in Fukuoka. What pool is the most famous in America? GT : Let me see,</p>	<p>○これまで蓄積した気づきを本時の本番（パフォーマンステスト）の中で活用させるために、プリペアーシートを確認させる。</p> <p>○本番（パフォーマンス）での成果と課題を把握し、それらを今後の英語でのコミュニケーションに取り入れさせるために、ルーブリックを基にした振り返りを行わせる。</p> <p>(生徒が作成したルーブリック)</p> <table border="1" data-bbox="890 1272 1455 1639"> <tr> <td data-bbox="890 1272 927 1467">A</td> <td data-bbox="927 1272 1098 1467">杉尾さんから尋ねられた都道府県のおすすめスポットを AAO や AOO のようなまとまりのある英文で紹介することができた。</td> <td data-bbox="1098 1272 1268 1467">杉尾さんに馴染みのあるものや友達の意見などと比較し、自分の感想やそう考える根拠を踏まえて、おすすめスポットを紹介することができた。</td> <td data-bbox="1268 1272 1455 1467">杉尾さんの反応に応じて、話している内容に関連する質問を3回することができた。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="890 1467 927 1639">B</td> <td data-bbox="927 1467 1098 1639">杉尾さんから尋ねられた都道府県のおすすめスポットを自分の感想や意見を含めて紹介することができた。</td> <td data-bbox="1098 1467 1268 1639">杉尾さんに馴染みのあるものや友達の意見などと比較しながら、おすすめスポットを紹介することができた。</td> <td data-bbox="1268 1467 1455 1639">杉尾さんの反応に応じて、話している内容に関連する質問を2回することができた。</td> </tr> </table>	A	杉尾さんから尋ねられた都道府県のおすすめスポットを AAO や AOO のようなまとまりのある英文で紹介することができた。	杉尾さんに馴染みのあるものや友達の意見などと比較し、自分の感想やそう考える根拠を踏まえて、おすすめスポットを紹介することができた。	杉尾さんの反応に応じて、話している内容に関連する質問を3回することができた。	B	杉尾さんから尋ねられた都道府県のおすすめスポットを自分の感想や意見を含めて紹介することができた。	杉尾さんに馴染みのあるものや友達の意見などと比較しながら、おすすめスポットを紹介することができた。	杉尾さんの反応に応じて、話している内容に関連する質問を2回することができた。
A	杉尾さんから尋ねられた都道府県のおすすめスポットを AAO や AOO のようなまとまりのある英文で紹介することができた。	杉尾さんに馴染みのあるものや友達の意見などと比較し、自分の感想やそう考える根拠を踏まえて、おすすめスポットを紹介することができた。	杉尾さんの反応に応じて、話している内容に関連する質問を3回することができた。								
B	杉尾さんから尋ねられた都道府県のおすすめスポットを自分の感想や意見を含めて紹介することができた。	杉尾さんに馴染みのあるものや友達の意見などと比較しながら、おすすめスポットを紹介することができた。	杉尾さんの反応に応じて、話している内容に関連する質問を2回することができた。								
		<p>13 本番（パフォーマンステスト）を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の本番（パフォーマンステスト）の動画での発話内容の文字起こし 	<p>○生徒にやり取りにおける課題を明確にさせるために、本番（パフォーマンステスト）での発話内容を文字起こしさせ、「こう言えばよかった」と思う英文を加筆させる。</p>								

6 本 時

(1) 本時の指導観

前時までには生徒は、単元課題を解決するために必要な表現に気づかせるために、単元課題に類似したものを取り組ませる「Task1」、そしてTask1の中で課題として挙げた「比較を用いて説明できなかった」、「関連する質問をすることができなかった」などの課題を解決するために比較級、最上級、as + 原級 + asなどの言語材料や、やり取りを行う際に役に立つ汎用的な表現を学習させ、それらを用いて単元課題を解決するためにどのようなことを表現すると良いかを考えさせる「Presentation」、さらにこれまでにプリペアーシートに蓄積した記述を基に単元課題を解決するための会話を想定させる活動とALTとの会話練習やALTとの会話練習における発話内容の分析を行い、自身のプリペアーシートへの加筆、修正する活動に取り組んでいる。そこで本時では、ペアとの会話練習を基に自身の表現について振り返る活動を通して、会話を継続・発展させるために必要な表現に気づき、自分の発話に活用することができることをねらいとする。そこでまず、帯学習を行わせる。ここでは、やり取りに必要な表現の定着を図らせるために、ペアで定型文を用いた会話練習に取り組ませる。その際、実際の会話を想定した活動にするために、1つの質問に対して複数の答えを用いて応答させる。次に、プリペアーシートを用いてペアでの会話練習に取り組ませる。ここでは、会話練習で自分が言えなかった表現に気づかせるために、自己評価を行わせる。その際、生徒により多くの表現を身につけさせるために、生徒の発話内容を全体で共有したり、教師が生徒の発話内容に対してフィードバックを行ったりする。そして、生徒自身の振り返りや教師からのフィードバックを基にプリペアーシートへの加筆、修正を行わせる。さらに、再度ペアでの会話練習に取り組ませる。ここでは、実際の本番（パフォーマンステスト）を想定して教師がその場で都道府県を指定し、そのおすすめスポットについてプリペアーシートを見ずにやり取りを行わせる。その際、生徒に自身の発話内容を振り返らせるために、会話練習の様子をタブレットで撮影させる。最後に、本時の振り返りを行わせる。ここでは、本時の気づきを次時の本番（パフォーマンステスト）に活用させるために、「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、「その課題の解決策」、「先生への質問」を記述させる。

本時のねらいを達成するための工夫点は、プリペアーシートの活用である。プリペアーシートを用いてペアでの会話練習に取り組ませる。ここでは、会話練習で自分が言えなかった表現に気づかせるために、自己評価を行わせる。その際、生徒により多くの表現を身につけさせるために、生徒の発話内容を全体で共有したり、教師が生徒の発話内容に対してフィードバックを行ったりする。そして、生徒自身の振り返りや教師からのフィードバックを基にプリペアーシートへの加筆、修正を行わせる。次に次時の本番（パフォーマンステスト）を想定した会話練習を行わせる。ここでは、自身の表現を振り返らせる際に、ルーブリックと照らし合わせて相互評価を行わせる。最後に、本時の振り返りを行わせる。ここでは、「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、「その課題の解決策」、「先生への質問」を記述させる。

(2) 主 眼

○ペアとの会話練習を基に自身の表現について振り返る活動を通して、会話を継続・発展させるために必要な表現に気づき、その気づいた表現を自分の発話に取り入れることができる。

(3) 過程

学習活動・内容	指導上の留意点 (○) と評価 (◇)
<p>1 あいさつ・帯活動を行う。</p> <p>(1) あいさつを行う。</p> <p>(2) 帯学習を行う。 (予想される生徒の発話)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1 : Which do you like better, summer or winter? S2 : Well, I like summer better than winter. I enjoy swimming in summer.</p> </div> <p>2 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○英語を使う雰囲気を作るために、英語でのあいさつを行う。</p> <p>○やり取りに必要な表現の定着を図らせるために、ペアで定型文を用いた会話練習に取り組みさせる。</p> <p>○実際の会話を想定した活動にするために、1つの質問に対して複数の答えを用いて応答させる。</p> <p>○生徒に本時の見通しをもたせるために、前時に行ったことを確認したり、単元課題を基に本時では何を行わなければならないかを考えさせたりする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】 ペアとの会話練習で言えなかったことを Training Match で使えるようになろう！！</p> </div>	
<p>3 プリペアーシートを用いてペアで会話練習を行う。</p> <p>(1) ペアで会話練習を行う。</p> <p>(2) 会話練習を基に自身の表現について振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話練習に対する自己評価 ・教師によるフィードバック <p>(教師が行うフィードバックの例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>One student said, "I like Tokyo Sky Tree. The night view from Tokyo Sky Tree is beautiful. How about you?" Is this "How about you?" a good question?</p> </div>	<p>○実際の会話を想定し、様々な質問や応答に触れさせるために、様々なペアと会話練習を行わせる。</p> <p>○より自分が言いたいことを言えるようにするために、生徒に会話練習で言えなかった表現をプリペアーシートに記述させる。</p>

(3) 次時の本番（パフォーマンステスト）を想定した
会話練習を行う。

(予想される生徒の発話)

S1 : (教師から指定された都道府県を見て)

Please tell me the famous spots in Tokyo.

S2 : Well, the famous spot in Tokyo is *Sensoji*

temple. It is famous for *Kaminarimon*.

Kaminarimon is the big red gate of *Sensoji*

temple. *Sensoji* is the most famous temple in
my class. Have you ever been to Tokyo?

S1 : Yes, I have. But, I haven't been to *Sensoji*

temple. Why is *Sensoji* temple famous?

S2 : Why? Um...

S1 : Can we enjoy eating delicious food? Can we
enjoy shopping?

S2 : Oh, yes, yes. we can enjoy delicious food
such as *Sembei* and *Soba*. *Sembei* is a kind
of fried rice cake. *Soba* is a kind of a

Japanese traditional noodle. What Japanese
food do you like?

S1 : I like ramen. How about you?

S2 : Me, too. There are many ramen shops in
Tokyo. I think *Daruma* ramen is one of the
most famous ramen shops in Tokyo.

○生徒に自身のやり取りにおける課題を明確にさせるた
めに、教師が都道府県を指定し、そのおすすめスポッ
トについて、生徒にやり取りを行わせる。

○生徒にプリペアーシートへの記述内容が定着している
か確認させるために、プリペアーシートを見ずに会話
練習を行わせる。

○会話練習を円滑に行わせるために、GT役の生徒には帯
活動で活用しているワークシートを使用させる。

○生徒に自身の発話内容を振り返らせるために、会話練
習の様子をタブレットで撮影させる。

○会話練習の評価を適切に行わせるために、ペアで本番
(パフォーマンステスト) のルーブリックに基づいた
相互評価を行わせる。

(本番のルーブリック)

A	杉尾さんから尋ねら れた都道府県のおす めスポットを AAO や AOO のようなま まりのある英文で紹 介することができた。	杉尾さんに馴染みの あるものや友達の意 見などと比較し、自分 の感想やそう考える根 拠を踏まえて、おすす めスポットを紹介する ことができた。	杉尾さんの反応に応 じて、話している内容 に関連する質問を3回 することができた。
B	杉尾さんから尋ねら れた都道府県のおす めスポットを自分の 感想や意見を含めて 紹介することができ た。	杉尾さんに馴染みの あるものや友達の意 見などと比較しなが ら、おすすめスポットを 紹介することができ た。	杉尾さんの反応に応 じて、話している内容 に関連する質問を2回 することができた。

◇ペアにおすすめスポットを紹介し、興味を持ってもら
えるように、その場所について、具体的な内容やおす
めポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて
伝えたり、ペアからの質問に答えたりすることができ
たか。
(動画・プリペアーシート分析)

◇ペアにおすすめスポットを紹介し、興味を持ってもら
えるように、その場所について、具体的な内容やおす
めポイントなどを整理し、簡単な語句や文を用いて
伝えたり、ペアからの質問に答えたりしようとしてい
たか。
(動画・プリペアーシート分析)

4 本時の振り返りを行う。

- ・「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、
「その課題の解決策」、「先生への質問」の記述

(予想される生徒の振り返り例)

うまくいったこと

日本のことをあまり知らない杉尾さんに対して、せんべいやそばを英語で説明することができた。

うまくいかなかったこと

Sensoji is the most famous temple in my class.と最上級を使っておすすめポイントを言うことができたけど、Why?と聞かれて答えにつまった。

その課題の解決策

会話で意見や情報を相手に伝える時には、その根拠もセットで言うようにする。もう一度プリペアーシートを見直し、根

○本単元で蓄積した気づきを次の表現活動に活用させるために、「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、「その課題の解決策」、「先生への質問」を記述させる。

○生徒のやり取りにおける表現を深めさせるために、生徒が振り返りに記述した内容を全体で共有する。

プリペアーシート No.2

Class () No. () Name ()
< Final Goal >

糸田町地域おこし協力隊の杉尾さんにおすすめスポットについて話そう!!

< 目的・場面・状況 >

目的

杉尾さんに日本の観光地を紹介し、糸田町に観光客を増やすための参考にしてもらうため。

場面

2年前までアメリカに住んでいて、日本の文化に馴染みのない杉尾さんと日本のおすすめスポットについて話している。

状況

インターネットなどで分かることではなく、生徒達が実際にそこに訪れたときの感想を知りたい。

< Request >

- ① She wants to know about the good places in Japan and your opinion about the good places.
- ② She wants you to compare your opinion and other opinion.
- ③ She wants you to ask her some questions.

< ルーブリック評価表 >

	リクエスト①	リクエスト②	リクエスト③
S			
A	杉尾さんから尋ねられた都道府県のおすすめスポットを AAO や AOO のようなまとまりのある英文で紹介することができた。	杉尾さんに馴染みのあるものや友達の見などと比較し、自分の感想やそう考える根拠を踏まえて、おすすめスポットを紹介することができた。	杉尾さんの反応に応じて、話している内容に関連する質問を3回することができた。
B	杉尾さんから尋ねられた都道府県のおすすめスポットを自分の感想や意見を含めて紹介することができた。	杉尾さんに馴染みのあるものや友達の見などと比較しながら、おすすめスポットを紹介することができた。	杉尾さんの反応に応じて、話している内容に関連する質問を2回することができた。

Fukuoka

(Question)

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

(Memo)

Tokyo

(Question)

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

(Memo)

【資料4】 実践ⅡのPracticeで使用したプリペアーシート(表)

()

(Question)

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

(Memo)

< Evaluation of the training match >

Reflection			
①	A	B	C
②	A	B	C
③	A	B	C

Advice

< Reflection of the training match >

~ うまくいったこと ~

~ Training Match で活用できたプリペアーシート内の英語 ~

~ うまくいかなかったこと ~

~ 課題の解決策 ~

~ 先生への質問 ~

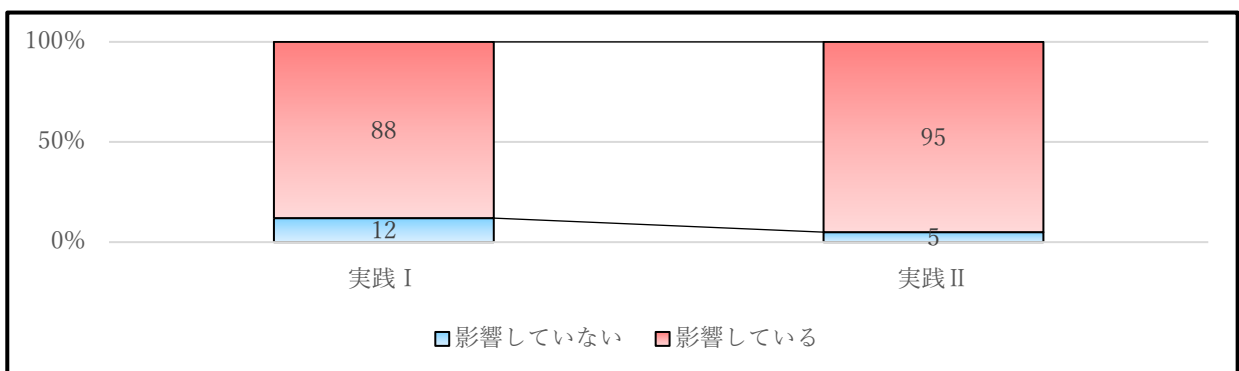
【資料5】 実践ⅡのPracticeで使用したプリペアーシート（裏）

7 研究の成果と課題

生徒に「英語でのやり取りを継続・発展できる力」を養わせるために、TPPTアプローチを取り入れた学習過程におけるプリペアーシートの活用が有効であるかどうかを以下の二つの視点から検証していく。

- 1 プリペアーシートの記述内容が生徒のパフォーマンステストにおける発話内容にどのように影響しているか。
- 2 本研究における「英語でのやり取りを継続・発展できる力」は養われたか。

(1) プリペアーシートの有効性はどうか。



【図2】 プリペアーシートの記述内容と生徒の発話内容の関係

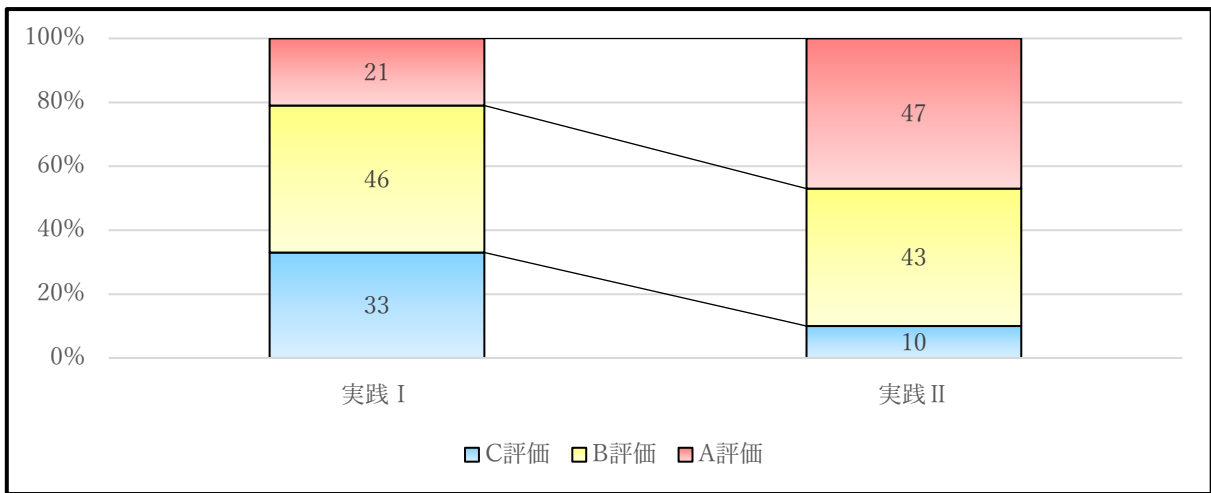
【図2】から、実践Ⅱでは、全体の95%の生徒がプリペアーシートに記述した内容を実際のパフォーマンステストで活用することができたことが分かる。これは、実践Ⅰと比較すると、7ポイントの増加である。その理由として次の工夫点が考えられる。これまではプリペアーシートに会話を想定させる際に文章で記述させていた。しかし、文章で書くと、ある質問に対して、一つの答えを

準備することになり、一問一答のインタビューのようなやり取りになってしまうという課題が明らかになった。そこで、会話の想定を文章ではなく、語句を用いたマッピングの形式で記述させた。こうすることにより、より多くの内容をプリペアーシートに想定させることができた。さらに、実践Ⅰで明らかになった、「関連する質問をすることができていない」という課題を解決するために、実践Ⅱでは、プリペアーシートに関連する質問を記述する欄を設けた。こうすることにより、やり取りにおいて、相手からの質問を待つだけではなく、自ら質問し、やり取りを継続・発展させようとする意識付けができたと考える。さらに、あらかじめ、関連する質問を準備することにより、自分が聞きたいことや、それをどのタイミングで聞くべきのかななどを整理できた。しかし、実践Ⅱを終えた段階で、依然としてプリペアーシートの記述内容をやり取りの継続・発展に機能しない場面で活用している生徒がいた。さらに全体の5%の生徒がプリペアーシートの記述内容がパフォーマンステストの発話に影響していない状況である。この生徒のプリペアーシートを分析すると、伝えたい内容を持つことができなかつたため、会話の想定が不十分であることが分かった。

(2) 本研究における「英語でのやり取りを継続・発展できる力」は養われたか。

【表 1】 「英語でのやり取りを継続・発展できる力」の評価基準

	A	B	C
継続・発展	最初の応答を除く、一連のやり取りにおいて、相手の発話に対して、自分の答えに情報や自分の意見を付け加えることと、関連する質問を付け加えることの両方ができる。	最初の応答を除く、一連のやり取りにおいて、相手の発話に対して、自分の答えに情報や自分の意見を付け加えること、もしくは関連する質問を付け加えることのどちらか一方ができる。	最初の応答を除く、一連のやり取りにおいて、相手の発話に対して、自分の答えに情報や自分の意見を付け加えることと、関連する質問を付け加えることの両方ができていない。



【図 3】 「英語でのやり取りを継続・発展できる力」が養われた生徒の割合

【表 1】はGTとのやり取りにおける生徒の「英語でのやり取りを継続・発展できる力」の評価基準を示している。【図 3】は「英語でのやり取りを継続・発展できる力」が養われた生徒の割合を示している。【図 3】より全体の90%の生徒に「英語でのやり取りを継続・発展できる力」が養われたということが分かる。実践Ⅰと比較すると、23ポイント増加しており、A評価の生徒は実践Ⅰと比べて、26ポイント増加している。このように一年間の実践を通して、A評価の生徒、B評価の生徒の割合に改善が見られた理由として、会話練習の充実が挙げられる。ただ、プリペアーシートに記述したことを読み合うだけではなく、目的や場面、状況を意識した発話を心がけさせたり、生徒にルーブリックを作成させ、そのルーブリックを基に会話練習の自己評価や相互評価を行わせたりした。

しかし、実践Ⅱを終えた段階で、依然として全体の10%の生徒がC評価である。C評価の生徒のパフォーマンステストにおける発話内容を分析すると、自分の伝えたいことを一方的に話して、パフォーマンステストを終えてしまったり、GTの質問を理解できずに、パニックになってしまい、GTが簡単な質問を聞き直しても頭の中が整理できずに、一問一答のインタビューのようなやり取りになってしまったりしていた。

(3) 研究の成果と課題および今後の実践に向けての改善点

① 成果

ア プリペアーシートの有効性はどうか。

各実践を通して、明らかになった「関連する質問をすることができていない」という課題を解決するために、実践Ⅱでは、プリペアーシートに関連する質問を記述する欄を設けた。こうすることにより、やり取りにおいて、相手からの質問を待つだけでなく、自ら質問し、やり取りを継続・発展させようとする意識付けができたと考える。さらに、あらかじめ、関連する質問を準備することにより、自分が聞きたいことや、それをどのタイミングで聞くべきのかななどを整理できた。また、GTとのパフォーマンステストにおける生徒の発話を分析すると、関連する質問を記述する欄に記述したものを多くの生徒が実際に発話することができていた。

イ 「英語でのやり取りを継続・発展できる力」は養われたか。

「英語でのやり取りを継続・発展できる力」は養われた生徒の割合（B評価以上）は、実践Ⅰと実践Ⅱを比較すると、23ポイント増加している。この理由として、次の2点が挙げられる。1点は、Practiceの段階で会話練習を行わせた際に、生徒が作成したループリックを基に自己評価や相互評価で自身の発話を分析させたことである。このように自身の発話を分析させる機会を多く設定することにより、目的や場面、状況に合った発話ができているか、自身が作成したループリックの内容を満たしているかななどを客観的に見るることができたと考える。さらに自身の発話分析することにより、自分の課題を明らかにすることができ、その課題を解決するためにプリペアーシートに不足している表現を加筆したり、より相手に伝わるように表現を修正したりする生徒の姿が多く見られた。2点は、国語科教員と行った相手意識を高めるためのTTが有効に働いたことである。このTTを受けて、生徒はコミュニケーションに必要な要素を再確認し、プリペアーシートへ記述する会話の想定を相手意識を踏まえて書くようになった。

② 課題および今後の実践に向けての改善点

ア プリペアーシートの有効性はどうか。

各実践を通して、プリペアーシートの記述内容を不適切な場面で活用している生徒がいることが明らかになった。さらに実践Ⅱを終えた後でも、全体の5%の生徒がプリペアーシートの記述内容がパフォーマンステストの発話に影響していない状況である。この生徒のプリペアーシートを分析すると、伝えたい内容を持つことができなかつたため、会話の想定が不十分であることが分かった。これらの課題を解決するために、ICTを活用して、プリペアーシートへの記述内容を共有させることや、良いコミュニケーションの例と悪い例を示し、ゴール像を明確にさせることが手立てとして考えられる。

イ 「英語でのやり取りを継続・発展できる力」は養われたか。

実践Ⅱを終えて、全体の10%の生徒が「英語でのやり取りを継続・発展できる力」が養われていない状況である。これらの生徒のパフォーマンステストにおける発話内容を分析すると、自分の伝えたいことを一方的に話して、パフォーマンステストを終えてしまったり、GTの質問を理解できずに、パニックになってしまい、GTが簡単な質問を聞き直しても頭の中が整理できずに、一問一答のインタビューのようなやり取りになってしまったりしていた。この課題を解決するために、目的や場面、状況を基に相手が尋ねてきそうな質問をクラス全体で共有し、それを一枚のワークシートに集約し、それを帯活動で活用することや聞き返しの表現や言い換えを依頼する表現などを学ばせる機会も設定することが手立てとして考えられる。

〈 主な引用・参考文献 〉

- ・ 文部科学省（2017）『中学校学習指導要領（平成29年告示）』文部科学省
- ・ 文部科学省（2018）『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』開隆堂出版
- ・ 大城賢（2008）「小学校外国語活動（仮称）の方向性～「教育課程部会の審議のまとめ」を読み解く～」『琉球大学教育学部教育実践センター紀要』 第15号、pp. 35-45
- ・ Canale, M. & Swain, M. (1980) *Theoretical Bases of Communicative Approaches to Second Language Teaching and Testing. Applied Linguistics*
- ・ Leis, A. and Erickson, J. (2018) *PPP and TBLT: A Perspective from the Self-Determination Theory* 全国英語研究会第45回弘前研究大会発表
- ・ H. H. Stern (1983) *Fundamental Concepts of Language Teaching Oxford University Press*
- ・ 松村昌紀（2017）『タスク・ベースの英語指導 —TBLTの理解と実践』大修館書店
- ・ 佐藤臨太郎・笠原究・古賀功（2015）『日本人学習者に合った効果的英語教授法入門』明治図書
- ・ 田中武夫（2016）「インタラクションモデル」泉恵美子・門田修平（編著）『英語スピーキング指導ハンドブック』（p. p333-345）大修館書店
- ・ 山田誠志（2022）『全国の実践から学ぶ 中学校英語教育35のポイント』日本標準
- ・ 村野井仁（2006）『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』大修館書店
- ・ 白畑知彦・富田祐一・村野井仁・若林茂則（2019）『英語教育用語辞典 第3版』大修館書店
- ・ 卯城祐司（2022）「外国語（英語）とはどのような教科か」日本教科教育学会（編）『教科とその本質—各教科は何を目指し、どのように構成するのか—』（pp. 140-145）教育出版
- ・ 望月昭彦・深澤真・印南洋・小泉利恵（2015）『英語4技能評価の理論と実践—CAN-DO・観点別評価から技能統合の評価まで—』大修館書店
- ・ 小泉利恵（2022）『実例で分かる英語スピーキングテスト作成ガイド』大修館書店
- ・ 亙理陽一・草薙邦広・寺沢拓敬・浦野研・工藤洋路・酒井英樹（2021）『英語教育のエビデンス—これからの英語教育研究のために』研究社